

## 10 外国語

外国語科の教科目標、評価の観点及び観 points の趣旨等(p.1～p.14)

- 1 教科目標
- 2 評価の観点及びその趣旨
- 3 「オーラル・コミュニケーション」の評価の観 points の趣旨  
「オーラル・コミュニケーション」における内容のまとめりごとの  
評価規準及びその具体例
- 4 「英語」の評価の観 points の趣旨  
「英語」における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

外国語科における指導と評価の年間計画の作成について(p.15～p.17)

- 1 指導と評価の年間計画の作成の仕方
- 2 指導と評価の年間計画例「オーラル・コミュニケーション」

指導と評価の単元計画の作成について(p.18～p.27)

- 1 指導と評価の単元計画の作成の仕方
- 2 指導と評価の単元計画例「オーラル・コミュニケーション」
- 3 学習指導案「オーラル・コミュニケーション」

観 points 別評価の総括(p.28)

学習指導要領においては、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことを目指し、学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の確実な習得を図ることを重視していることから、学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況を見る評価（いわゆる絶対評価）を一層重視し、観点別学習状況の評価を基本として、生徒の学習の到達度を適切に評価していくことが重要となる。教科・科目の目標はトータルな実現目標を示しているため、目標をいくつかの質の違うものに分けて評価する必要がある、これを観点別学習状況評価という。

生徒に学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容が確実に身に付いているかどうかを適切に評価し、指導や学習の改善に生かしていくためには、生徒の学習の状況をどのような規準や方法等で明らかにしていくかが重要となり、「指導と評価の年間計画」「指導と評価の単元計画」を作成する必要がある。

外国語科においては、次に示す「教科目標」「教科の評価の観点及びその趣旨」「各科目の評価の観点の趣旨」「各科目における内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例」に基づいて「指導と評価の年間計画」「指導と評価の単元計画」を作成し、学習指導要領が示す言語活動である「生徒が情報や考えなどの受け手や送り手になるような具体的な言語の使用場面を設定したコミュニケーション活動」ごとの「内容のまとまり」により各科目の目標の実現を図ることになる。

## 外国語科の教科目標、評価の観点及び観点の趣旨等

### 1 教科目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。

### 2 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

### 3 各科目の評価の観点の趣旨

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
オーラル・コミュニケーション	コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーション	日常生活の身近な話題について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり、発表して表現する。	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするこ	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに

	ンを図ろうとする。		理解する。	その背景にある文化などを理解している。
オーラル・コミュニケーション	コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	幅広い話題について、情報や考えなどを伝えたいことを整理して英語で発表したり、話し合ったりして表現する。	幅広い話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを整理して理解する。	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。
英語	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなどを伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。
英語	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	幅広い話題について、情報や考えなどを伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現する。	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを整理して理解する。	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。
リーディング	コミュニケーションに関心を持ち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。	文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	様々なジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	英語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。
ライティング	コミュニケーションに関心を持ち、英語で書く言語活動を積極的に行い、	情報や考えなど伝えたいことを、場面や目的に応じて整理し、英語で書		英語で書くことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に

	コミュニケーションを図ろうとする。	いて表現する。		付けるとともにその背景にある文化などを理解している。
--	-------------------	---------	--	----------------------------

#### 4 「オーラル・コミュニケーション」における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

##### (1) 目標

日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

##### (2) 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現する。	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようすることを理解する。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

##### (3) 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

オーラル・コミュニケーションでは、学習指導要領の言語活動に示されているコミュニケーション活動を内容のまとめりとした。

「聞くこと／聞いて応じること」

英語を聞いてその内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に反応する。

「対話すること」

関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。

「話すこと」

情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝える。

「口頭で発表すること」

聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを理解する。

各内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例は、下記のとおりである。

「聞くこと／聞いて応じること」の評価規準

--	--	--	--

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
「聞くこと／聞いて応 じること」の言語活動 に積極的、主体的に取り 組んでいる。		日常生活の身近な話題 について、英語を聞いて、 情報や考えなど相 手が伝えようとするこ とを正確に理解するこ とができる。	日常生活の身近な話題 について、「聞くこと／ 聞いて応じること」の 学習で取り扱われた言 語や言語の運用につい ての基本的な知識を身 に付けている。
さまざまな工夫をする ことで、コミュニケー ションを主体的に続け ようとしている。		日常生活の身近な話題 について、場面や目的 に応じて適切に聞いた り、反応することがで きる。	日常生活の身近な話題 についての英語の学習 で取り扱われた文化に ついて理解している。

「聞くこと／聞いて応じること」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て話を聞いた り、必要に応じて メモを取るなど、相 手の話に関心をもっ ている。</li> <li>・聞いたことについて ジェスチャーや簡単 なことばで応答した りしている。</li> </ul>		<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムやイントネー ションなど、基本的 な英語の音声の特徴 をとらえ、正しく聞 き取ることができる。</li> <li>・聞いた内容について 正しく理解するこ とができる。</li> </ul>	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連音や音変化などを 聞き分ける知識があ る。</li> <li>・場面や状況による強 勢やイントネーショ ンの違いを理解して いる。</li> <li>・場面や状況、目的に 応じた表現を知って いる。</li> <li>・「聞くこと」に用いら れる語句や文法を知 っている。</li> </ul>
<p>(コミュニケーション の継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解できないところ があっても、推測す るなどして聞き続け ている。</li> <li>・理解できないとき、 確認したり、繰り返 しや説明を求めたり</li> </ul>		<p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いた内容について 大切な部分を把握す ることができる。</li> <li>・質問、依頼、指示な どに対して、適切に 応じることができる。</li> <li>・自然な口調で話され たり読まれたりする</li> </ul>	<p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーなど非 言語的なコミュニケー ション手段の役割 や用い方を理解して いる。</li> <li>・家庭、学校や社会に おける日常生活や 風俗習慣などを理解</li> </ul>

している。		英語の内容を聞き取ることができる。	している。 ・人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。
-------	--	-------------------	--

「対話をする事」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
対話による言語活動に積極的に取り組んでいる。	日常生活の身近な話題で関心のあることについて、英語で正しく話すことができる。	日常生活の身近な話題について、相手が伝えようとすることを正確に理解することができる。	日常生活の身近な話題について、「対話すること」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	日常生活の身近な話題で関心のあることについて、英語で適切に質問したり答えたりすることができる。	日常生活の身近な話題について、相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じて適切に聞き取り、応答することができる。	日常生活の身近な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。

「対話をする事」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
(言語活動への取組) ・間違ふことを恐れず関心のあることについて相手に質問している。 ・自ら学んだ表現などを使って話している。 ・相づちを打つなど、相手の話に関心をもって聞いている。 ・相手の質問に積極的に答えようとしている。 ・ペア・ワークなどに	(正確な対話) ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて話すことができる。 ・文法に従って話すことができる。 ・話そうとすることを相手に正確に伝えることができる。	(正確な対話) ・強勢やイントネーションなどから、相手の意図などを正しく理解することができる。 ・相手の話の内容を正しく聞き取ることができる。	(言語についての知識) ・連音や音変化などを聞き分ける知識がある。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。 ・「対話をする事」に用いられる語句や文法を知っている。

<p>において積極的に協力しあっている。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく言えないところがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> <li>・交互に話し手や聞き手として、対話が続くように協力しあっている。</li> </ul>	<p>(適切な対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な話題を選んで話すことができる。</li> <li>・話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる。</li> <li>・適切な速さや声の大きさで話すことができる。</li> <li>・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul>	<p>(適切な対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な口調で話された英語の内容を聞き取ることができる。</li> <li>・聞かれたことに対して素早く適切に応じることができる。</li> </ul>	<p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>
---	--	--	--

#### 「話すこと」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなどを英語で正しく話すことができる。		日常生活の身近な話題について、「話すこと」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	日常生活の身近な話題について、場面や目的に応じて英語で適切に話すことができる。		日常生活の身近な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。

#### 「話すこと」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
(言語活動への取組) ・間違えることを恐れず自分の考えなどを話	(正確な対話) ・正しいリズムやイントネーションなどを		(言語についての知識) ・場面や状況による強勢やイントネーション

<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学んだ表現などを使って話している。</li> <li>・関心をもって質問している。</li> <li>・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に協力しあっている。</li> </ul> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく言えないところがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> </ul>	<p>用いて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法に従って話すことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。</li> </ul> <p>(適切な対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や目的に応じて語句や表現を選択し、適切に話すことができる。</li> <li>・相手の発話に対して適切に応答することができる。</li> <li>・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさを話することができる。</li> <li>・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul>		<p>ンの違いを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。</li> <li>・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> </ul> <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方 Understanding している。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>
---	--	--	---

「口頭で発表すること」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
口頭で発表することの言語活動に、話し手や聞き手として、積極的に参加している。	日常生活の身近な話題について、情報や自分の考えなどを英語で正しく発表することができる。		日常生活の身近な話題について、「口頭で発表すること」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	日常生活の身近な話題について、場面や目的に応じて内容を整理し、英語で適切に発表することができる。		日常生活の身近な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。



「口頭で発表すること」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違うことを恐れず情報や自分の考えなどを発表している。</li> <li>・自ら学んだ表現などを使って発表している。</li> <li>・発表するための情報を積極的に収集している</li> <li>・相手を見て発表を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心をもっている。</li> <li>・聞いたことについて主体的に意見やコメントを述べようとしている。</li> </ul>	<p>(正確な発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいリズムやイントネーションなどを用いて発表することができる。</li> <li>・文法に従って、正しく話すことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを、聴衆に正確に話すことができる。</li> </ul>		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。</li> <li>・「口頭で発表すること」に用いられる語句や文法を知っている。</li> </ul>
<p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解してもらえようように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> <li>・発表者の考えなどについて、確認したり説明を求めたりしている。</li> </ul>	<p>(適切な発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいポイントを整理して発表することができる。</li> <li>・伝えたい内容や話題などに応じて、適切な表現を選択し、発表することができる。</li> <li>・聞き手の立場に立って、イラストや写真を使うなど工夫をこらして発表することができる。</li> </ul>		<p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>

## 5 「英語」における内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

### (1) 目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

### (2) 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

### (3) 学習指導要領の内容、内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

英語では、学習指導要領の言語活動に示されているコミュニケーション活動を内容のまとまりとした。

#### 「聞くこと」

英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

#### 「読むこと」

英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

#### 「話すこと」

聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

#### 「書くこと」

聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

各内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例は、下記のとおりである。

#### 「聞くこと」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。		日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手	日常的な話題について、「聞くこと」の学習で取り扱われた言

<p>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</p>		<p>が伝えようとすることを正確に理解することができる。</p> <p>日常的な話題についての英語を場面や目的に応じて適切に聞き取ることができる。</p>	<p>語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</p> <p>日常的な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p>
---	--	---	--

「聞くこと」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心をもっている。</li> <li>・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。</li> <li>・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。</li> </ul>		<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。</li> <li>・聞いた内容について正しく理解することができる。</li> </ul>	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連音や音変化などを聞き分ける知識がある。</li> <li>・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。</li> <li>・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> </ul>
<p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。</li> <li>・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。</li> </ul>		<p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いた内容について概要や要点を把握することができる。</li> <li>・さまざまな口調や速度で話されたり読まれたりする英語の内容を聞き取ることができる。</li> </ul>	<p>(文化についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・人々のものの見方や</li> </ul>

			考え方などの違いについて理解している。
--	--	--	---------------------

「読むこと」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	日常的な話題についての英語を読んで、情報や考えなど書き手の伝えようとすることを正確に理解することができる。	日常的な話題について、「読むこと」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	日常的な話題についての英語を場面や目的に応じて適切に読み取ることができる。	日常的な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。

「読むこと」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
(言語活動への取組) ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。	(正確な音読) ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	(正確な読み取り) ・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(言語についての知識) ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。 ・「読むこと」に用い

<p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。</li> </ul>	<p>(適切な音読)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味や作者の意向などを考えて適切に音読したり暗唱したりすることができる。</li> </ul>	<p>(適切な読み取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読んだ内容について概要や要点を把握することができる。</li> <li>文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。</li> </ul>	<p>られる語句や文法を知っている。</p> <p>(文化についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>
---	--	---	--

#### 「話すこと」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。</p>		<p>日常的な話題について、「話すこと」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</p>
<p>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</p>	<p>日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。</p>		<p>日常的な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p>

#### 「話すこと」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。</li> <li>自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。</li> </ul>	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。</li> <li>文法に従って正しく話すことができる。</li> </ul>		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>場面や状況、目的に応じた表現を知</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心をもって質問している。</li> <li>・ ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。</li> </ul> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・ つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。</li> </ul> <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し、適切に話すことができる。</li> <li>・ 相手の発話に対して適切に応答することができる。</li> <li>・ 場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさを話すことができる。</li> <li>・ 相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul>		<p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> </ul> <p>(文化についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・ 家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・ 人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>
---	--	--	--

#### 「書くこと」の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</p>	<p>日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。</p> <p>日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。</p>		<p>日常的な話題について、「書くこと」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</p> <p>日常的な話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p>

「書くこと」の評価規準の具体例

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> </ul>	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法に従って正しく書くことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。</li> </ul>		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や符号などを使い分ける知識を身に付けている。</li> <li>・場面や状況、目的に応じた表現を知っている。</li> <li>・文章構成についての知識がある。</li> <li>・「書くこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> </ul>
<p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>	<p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。</li> <li>・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。</li> <li>・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。</li> </ul>		<p>(文化についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</li> <li>・人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</li> </ul>

## 外国語科における指導と評価の年間計画の作成について

### 1 指導と評価の年間計画の作成の仕方

#### (1) 年間計画の内容

指導と評価の年間計画を作成するにあたっては、その科目により生徒にどのような力を付けさせたいかを念頭に置いて作成する必要がある。そのためには科目の目標を実現するための指導内容と評価規準を明確にしていくことが肝要で、例としてあげた「オーラル・コミュニケーション」の年間計画例は、下記の項目により作成した。

科目の目標  
単元（題材）名  
指導内容  
内容のまとめり  
評価規準（評価の観点）  
評価方法

#### (2) 内容のまとめり

これは、前掲 4 (3) 「学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例」に示してあり、学習指導要領の言語活動に示されているコミュニケーション活動を内容のまとめりとして4つに分類したものである。「オーラル・コミュニケーション」の内容のまとめりは下記のとおりである。

「聞くこと／聞いて応じること」  
「対話をすること」  
「話すこと」  
「口頭で発表すること」

上記の ～ のうち、各単元で重点を置いて指導する内容のまとめりを年間計画で示した。

#### (3) 評価規準

一つの単元（題材）において全ての観点を評価するのではなく、単元目標に沿った観点を評価することとした。年間で、達成されるべき生徒の力が測れるように配慮してある。

例としてあげた「オーラル・コミュニケーション」の年間計画においては、各単元で重点的に指導する内容のまとめりに基づき、前掲 4 (3) 「内容のまとめりごとの評価規準」の中から各単元に適した評価規準を選び、年間でバランスよく生徒の力が評価できるようにした。

#### (4) 評価方法

外国語科では、各科目に適切な評価方法により評価を実施すべきであるが、例としてあげた「オーラル・コミュニケーション」では、次の3つの評価方法を主に行う必要がある。

授業中における観察（活動の観察、生徒の応答）  
面接テスト  
定期テスト（リスニングテスト、ペーパーテスト）

年間計画では、上記3種類の評価方法を単元に応じて示してある。

#### (5) 参 考

岐阜県総合教育センターの教科英語のページ(<http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/eigo/eigotop.htm>)  
には、高校英語学習プログラム開発研究協力員による「指導と評価の年間計画」・「単元指導計画」・「授業展開例」を掲載している。



## 2 指導と評価の年間計画例「オーラルコミュニケーション」

### 1 目標

日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

### 2 指導と評価の年間計画

月	職	単元（題材）	指導内容	内容の まとめり	評価規準	評価方法
4	6	オリエンテーション 自己紹介	・オリエンテーション ・自己紹介をする。 ・英語のニックネームを 理解する。	話すこと	・比較的平易な英語を用いて、場面や目的に応じて 適切に話すことができる。（表現の能力） ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に 付けている。（知識・理解）	・活動の観察 ・生徒の応答
	4	学校生活	・学校行事について発表 する。 ・米国の高校の行事を理 解する。	聞くこと	・比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手 が伝えようとすることを正確に理解することがで きる。（理解の能力） ・日常生活の身近な話題についての英語の学習で取 り扱われた文化について理解している。（知識・理 解）	・活動の観察 ・生徒の応答
	4	通学	・通学方法について話し 合う。 ・自分の意見を言う。	口頭で発表 すること	・口頭で発表することの言語活動に、話し手や聞き 手として、積極的、主体的に参加している。（関心 ・意欲・態度） ・情報や自分の考えなどを英語で正しく発表するこ とができる。（表現の能力）	・活動の観察 ・活動の観察
	1	前期中間テスト			（理解の能力） （知識・理解）	・リスニング テスト ・ペーパーテ スト
6	4	趣味	・趣味について話し合 う。 ・自分が得た情報を相手 に伝える。	対話をする こと	・対話による言語活動に積極的、主体的に取り組ん でいる。（関心・意欲・態度） ・関心のあることに、適切に英語で質問したり答え たりすることができる。（表現の能力）	・活動の観察 ・活動の観察
	4	旅行	・旅行を計画し、旅行予 定を説明する。 ・旅行での体験を聞き取 る。	聞くこと 口頭で発表 すること	・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組 んでいる。（関心・意欲・態度） ・場面や目的に応じて内容を整理し、英語で適切に 発表することができる。（表現の能力）	・活動の観察 ・生徒の応答
7	2	面接テスト	・絵を口頭で説明する。 （1時間）		・言語活動に、積極的、主体的に参加している。 （関心・意欲・態度） ・情報や自分の考えなどを英語で正しく発表するこ とができる。（表現の能力） ・相手が伝えようとすることを正確に理解するこ とができる。（理解の能力） ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に 付けている。（知識・理解）	・面接テスト
	5	健康	・健康法について話し合 う。 ・医者と患者のロール・ プレイを行う。	対話をする こと	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーション を主体的に続けようとしている。（関心・意欲・ 態度） ・相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じ て適切に聞き取り、反応することができる。（理解 の能力）	・活動の観察 ・活動の観察
9	4	家事	・家事について話し合 う。 ・ホームステイ先での対 話を聞き取る。 ・ニュージーランドでの 家事分担を理解する。	聞くこと	・比較的平易な英語を、場面や目的に応じて適切に 聞いたり、反応することができる。（理解の能力） ・日常生活の身近な話題についての英語の学習で取 り扱われた文化について理解している。（知識・理 解）	・活動の観察 ・生徒の応答
	5	食事	・留学生を食事に招き、 料理について説明す る。 ・イギリスの朝食につい	話すこと	・様々な工夫をすることで、コミュニケーションを 主体的に続けようとしている。（関心・意欲・態度） ・比較的平易な英語を用いて、場面や目的に応じ て適切に話すことができる。（表現の能力）	・活動の観察 ・活動の観察

			て理解する。			
10	1	前期末テスト			(理解の能力) (知識・理解)	・リスニング テスト ・ペーパーテ スト
	4	習慣	・日本の風習を説明する。 ・様々なカードについて理解する。	口頭で発表すること	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。(関心・意欲・態度) ・場面や目的に応じて内容を整理し、英語で適切に発表することができる。(表現の能力)	・活動の観察 ・活動の観察
11	4	ペット	・ペットについて意見を交換する。 ・インタビューした結果を発表する。	話すこと 口頭で発表すること	・比較的平易な英語を用いて、情報や考えなどを正しく話すことができる。(表現の能力) ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。(関心・意欲・態度)	・生徒の応答 ・活動の観察
	4	買い物	・自分のほしい品物を注文する。 ・アメリカでのおつりの払われ方を理解する。	対話をする こと	・関心のあることについて、正しく英語で話すことができる。(表現の能力) ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。(知識・理解)	・生徒の応答 ・活動の観察
	1	後期中間テスト			(理解の能力) (知識・理解)	・リスニング テスト ・ペーパーテ スト
12	4	パーティー	・パーティーでの応答をロール・プレイする。 ・英語圏での様々なパーティーについて理解する。	対話をする こと	・対話による言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・関心のあることに、英語で適切に質問したり答えたりすることができる。(表現の能力) ・相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じて適切に聞き取り、応答することができる。(理解の能力) ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。(知識・理解)	・活動の観察 ・生徒の応答
1	5	メディア	・テレビ会議で意見を述べる。 ・留学生との対話を聞き取る。	口頭で発表 すること	・口頭で発表することの言語活動に、話し手や聞き手として、積極的、主体的に参加している。(関心・意欲・態度) ・情報や自分の考えなどを正しく発表することができる。(表現の能力) ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。(知識・理解)	・活動の観察 ・生徒の応答
2・3	2	面接テスト	・ロール・プレイによるスピーキングテスト(1時間)		・言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。(関心・意欲・態度) ・関心のあることについて、適切に英語で質問したり答えたりすることができる。 ・情報や自分の考えなどを正しく発表することができる。(表現の能力) ・比較的平易な英語を、場面や目的に応じて適切に聞いたり、反応することができる。(理解の能力) ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。(知識・理解)	面接テスト
	5	進路	・自分の進路について話し合う。 ・進路相談員と相談者のロール・プレイをする。	対話をする こと 話すこと	・相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じて適切に聞き取り、反応することができる。(理解の能力) ・比較的平易な英語を用いて、場面や目的に応じて適切に話すことができる。(表現の能力)	・生徒の応答 ・活動の観察
	1	学年末テスト			(理解の能力) (知識・理解)	・リスニング テスト ・ペーパーテ スト

## 指導と評価の単元計画の作成について

### 1 指導と評価の単元計画の作成の仕方

#### (1) 単元の目標

各単元においては、科目の目標及び年間指導計画に従って単元の目標を設定する。

#### (2) 単元の評価規準

年間指導計画に示されている各単元における「内容のまとまりごとの評価規準」に基づき、「単元における評価規準」及び「学習活動における具体的評価規準」を作成することになる。その際、次のような手順で進めることとなる。

と は、前掲 4 (3)を参照。

##### 手順 1

年間指導計画に示されている各単元において重点的に取り扱う「内容のまとまりごとの評価規準」を単元の指導目標に照らして具体化して「単元における評価規準」を設定する。

##### 手順 2

手順 1 で設定した「単元における評価規準」を単元における学習活動の内容に合わせて具体化し、「学習活動における具体的評価規準」を設定する。

#### ・解説

「オーラル・コミュニケーション」の評価規準及びその具体例の全体については、本資料の の4「オーラル・コミュニケーション」における内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例に示されている。

「オーラル・コミュニケーション」の評価規準及びその具体例」を参考として、以下のように4つの観点ごとに、コミュニケーション能力をとらえる視点を取り上げ、それにしたがって具体的評価規準を設定する。

##### ア 関心・意欲・態度

コミュニケーションに取り組む様子やコミュニケーションを継続させようとする努力の様子をとらえて以下の二つの視点から具体的評価規準を設定する。

##### (ア) 言語活動への積極的な取組

情報や自分の考えなどを積極的に相手に伝えようとしたり、相手の考えなどを理解しようとしているかどうか、つまり、コミュニケーションに取り組む構えを評価する。したがって、ここでは、英語を使用する正確さや適切さ、すなわち、運用上の能力などを評価の対象としない。

##### (イ) コミュニケーションを継続する努力

コミュニケーションがとぎれそうなときには、さまざまな手だてを用いてコミュニケーションを継続する努力が必要となる。その努力の様子を評価する。

##### イ 表現の能力

自分の考えや気持ちなどを誤解なく相手に伝えることができるかどうかについて以下の二つの視点から具体的評価規準を設定する。

(ア) 正確さ

リズム、イントネーション、文法などの規則に従って正確に表現できているかどうかを評価する。また、情報の内容に間違いがなく正確に伝わっているかどうかを評価の対象とする。

(イ) 適切さ

実際のコミュニケーションで誤解なく伝えるために、場面や状況に応じてふさわしい表現を選択したり、適切な声の大きさや速さで話ができているかどうかを評価する。

ウ 理解の能力

相手の意向や具体的な情報など相手が伝えようとすることを理解できるかどうかについて以下の二つの視点から具体の評価規準を設定する。

(ア) 正確さ

リズム、イントネーション、文法など言語についての知識を活用して、英語の内容を正しく理解できているかどうかを評価する。

(イ) 適切さ

場面や状況、目的に応じた聞き方をして英語を理解したり、適切に応じることができているかどうかを評価する。

エ 知識・理解

コミュニケーションを目的として言語を運用する支えになっているかどうかについて以下の二つの視点から具体の評価規準を設定する。

(ア) 言語についての知識

正確さの支えとなるリズム、イントネーション、文法など言葉のもつ仕組みについての知識だけではなく、適切さの支えとなる言語の働きや、場面にふさわしい表現など言語運用面についての知識も評価の対象とする。

(イ) 文化についての理解

幅広い意味での文化に関する理解ではなく、円滑なコミュニケーションに必要とされる、社会言語的な側面での文化についての理解に限って評価する。

以上述べたように「オーラルコミュニケーション」では4つの観点ごとにそれぞれ2つの視点から具体の評価規準を設定することが考えられる。そのうち、それぞれの「内容のまとまり」に対応するものが、以下の表の である。

区分	関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		知識・理解	
	取 組	継 続	正確さ	適切さ	正確さ	適切さ	言 語	文 化
聞く			-	-				
対話								
話す					-	-		
発表					-	-		

次に、課ごとの具体の評価規準の設定をする。例えば、年間計画の１２月の単元は「パーティー」であり、主な学習目標は次の３点である。

間違いを恐れず英語で積極的に話す。

パーティーの種類や参加者に応じて適切に表現を選択して、話したり応答することができる。

パーティーに関する慣用表現を理解し、コミュニケーションの手段として運用できる。

内容のまとまりは「対話すること」に設定し、年間指導計画では、この単元の「内容のまとまりごとの評価規準」を、下記の観点で設定する。

ア 最初の目標においては、対話による言語活動に積極的に取り組むこととさまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとするのが求められるので、間違うことを恐れず関心のあることについて相手に質問する「言語活動への取組」とつなが言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続ける「コミュニケーションの継続」の観点で評価する。（関心・意欲・態度）

イ ２つ目の目標においては、関心のあることに適切に英語で質問したり答えたりすることが求められるとともに相手が伝えようとするのを場面や目的に応じて適切に聞き取り、応答することが求められるため、話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる「適切な対話」と聞かれたことに対して素早く適切に応じることができる「適切な対話」の観点で評価する。（表現の能力、理解の能力）

ウ ３つ目の目標は、日常生活の身近な話題について、「対話すること」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けていることが求められるため、パーティーの場面や状況、目的に応じた表現を知っている「言語についての知識」の観点で評価する。（知識・理解）

このように考え、この課では、以下の表に示す５つの□□□□に対応して、具体の評価規準を設定し、指導と評価の計画を行う。

区分	関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		知識・理解	
	取組	継続	正確さ	適切さ	正確さ	適切さ	言語	文化
聞く			-	-				
対話								
話す					-	-		
発表					-	-		

手順１では、上記のア～ウの評価規準に対応した「単元における評価規準」を、単元の指導目標に照らして、前掲４(３)「内容のまとまりごとの評価規準の具体例」を参考にして設定することになる。上記イを例にとると、下記のようなになる。

「内容のまとまりごとの評価規準」

・「対話すること」

イ「関心のあることに、適切に英語で質問したり答えたりすることができる。」(表現の能力)

「単元における具体の評価規準」

・「対話すること」

イ「話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる。」(表現の能力)

手順2では、上記のイを、学習活動の内容に合わせて、さらに具体化することになる。

「学習活動における具体の評価規準」

イ - 「相手に応じた丁寧さのレベルで話することができる」

イ - 「他人を紹介したり、食べ物を勧めたりして、適切に対話を進行できる。」

(3) 指導と評価の計画

(1)の単元目標及び(2)の単元の評価規準に基づいて単元全体の指導と評価の計画を作成する。計画には、下記の項目が必要である。

配当時間

各時間の学習目標

各時間の学習活動

本単元の評価規準との関連（授業中の評価規準と評価場面を示す）

評価方法

(4) 学習指導案

指導案に、授業中の評価規準と評価場面を示すことが必要である。授業中の評価場面は2つ程度が望ましく、単元全体で一つの評価規準に対して複数回評価することが必要である。

## 2 指導と評価の単元計画例「オーラル・コミュニケーション」

・「パーティーについて」

### (1) 単元の主な学習目標

間違いを恐れず英語で積極的に話す。

パーティーの種類や参加者に応じて適切に表現を選択して、話したり応答することができる。

パーティーに関する慣用表現を理解し、コミュニケーションの手段として運用できる。

### (2) 本単元の評価規準【対話をする事】

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
内容のまとめりごとの中の該当する評価規準	対話による言語活動に積極的に取り組んでいる。  さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	日常生活の身近な話題に関心のあることについて、適切に英語で質問したり答えたりすることができる。	日常生活の身近な話題について、相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じて適切に聞き取り、反応することができる。	日常生活の身近な話題について「対話すること」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
単元における具体の評価規準	(言語活動への取組) 間違えることを恐れず関心のあることについて相手に質問している。  (コミュニケーションの継続) つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。	(正確な対話)  (適切な対話) 話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる。	(正確な対話)  (適切な対話) 聞かれたことに対して素早く適切に応じることができる。	(言語についての知識) パーティーの場面に応じた表現を知っている。  (文化についての理解)
学習活動における具体の評価規準	(言語活動への取組) 文法的な誤りを気にせず多くの情報を伝えている。  (コミュニケーションの継続) Well, Oh, Let me see を適切に用いて、対話を継続している。	(正確な対話)  (適切な対話) 相手に応じた丁寧さのレベルで話すことができる。 他人を紹介したり、食べ物を勧めたりして、適切に対話を進行できる。	(正確な対話)  (適切な対話) 相手を紹介されたり、食べ物を勧められた場合の内容が分かり、すぐ反応できる。	(言語についての知識) Thank you for ~, This is ~, Would you like to have ~ の意味・使い方を理解している。  (文化についての理解)

(3) 指導と評価の計画

時間	学習目標	学 習 活 動	評価規準との関連				評価方法
			関心 意欲 態度	表現 の能 力	理解 の能 力	知識 理解	
1	<p>パーティーに招待されて友達の家を尋ねた時の会話の内容を理解できる。</p> <p>Thank you for ~の文の意味・構造を理解し、それを使ってパーティーに関することを表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を聞いてどういう場面か考える。</li> <li>もう一度聞き、約束の時間、相手の反応を聞き取る。</li> <li>会話の場面、約束の時間、相手の反応に関して教師の質問に答える。</li> <li>Thank you for ~を使って、ペアで絵を見ながら対話練習をする。</li> <li>お礼を言うことに関する語句を教師の指示に従って音読練習をする。</li> <li>相手がしてくれたことについて感謝する場面のロール・プレイを4人の生徒で行う。</li> </ul>					<p>知識・理解 方法 活動の観察 手順 ペアワークを観察 判断 用いていれば、知っている と判断して</p> <p>関心・意欲・態度 方法 行動の観察 手順 ロールプレイを観察 判断 対話を継続して いれば</p>
2	<p>いろいろなパーティーの種類について理解することができる。</p> <p>Who do you want a party for? を用いて計画したいパーティーについて友達にインタビューできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国で経験したパーティーについて書いた日記を読み、surprise party, BYO について教師の質問に答えることができる。</li> <li>welcome party, housewarming party 等のパーティーの種類について教師の英語の説明を聞いて理解する。</li> <li>「I have experienced ~」の意味が分かる。</li> <li>「I have experienced ~」を使って、自分が経験したことがあるパーティーを英語で書く。</li> <li>自分が計画したいパーティーの種類と相手を計画表に英語で書く。</li> <li>3人以上の友達にどんなパーティーを計画をしたかをインタビューして、ワークシートに英語で書く。</li> <li>インタビュー内容をクラス全体の前で発表する。</li> </ul>					<p>関心・意欲・態度 方法 ワークシート 手順 何人とインタビューしたかをチェック 判断 3人以上行っている と判断して</p> <p>知識・理解 方法 活動の観察 手順 ・発表を観察 ・生徒の相互評価を実施 判断 用いていれば、知っている と判断して</p>



3	<p>留学生のために開いた歓迎パーティーの内容を聞いて、登場人物の様子が理解できる。</p> <p>パーティーの参加者として、左隣に座った人を紹介したり、食べ物や飲み物を勧めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を聞いて、教師の質問に答える。</li> <li>・4人のグループを作り、じゃんけんで双六の駒を進め、止まったマスが人物なら紹介し、食べ物なら勧める。</li> <li>・紹介された人は、会話に応じることができる。</li> <li>・勧められた食べ物を断る時は、相手の気持ちを傷つけないように簡単な理由を述べることができる。</li> </ul>				<p>表現の能力 方法 行動の観察 手順 紹介や勧誘を観察 判断 相手に応じた丁寧さの使い分けや対話の振興ができていれば</p> <p>理解の能力 方法 ワークシート 手順 どのようなに応じたかを記入させ、授業後のにチェックする。 判断 会話に応じていれば</p>
後日	<p>ペアの生徒同士が、提示された状況でのロール・プレイを即興で行うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの生徒一人がパーティーのホスト役に、もう一人が参加者になり、即興でロール・プレイする。 訪問時の挨拶 食べ物を勧める。断る。 他の参加者を紹介する。</li> </ul>				<p>関心・意欲・態度 表現の能力 理解の能力 知識・理解 方法 面接テスト 手順 ・ロールプレイを観察 ・自己評価を実施 判断 即興ロールプレイができていれば</p>

・解説

評価計画の作成の仕方とその際の配慮事項

設定した具体的評価規準を使って、指導過程のどの部分で、どのような方法で評価するのかを、指導と評価の一体化を図りながら工夫する必要がある。次に、その際に配慮すべき点を説明する。

ア 評価は指導した活動（内容）に対して行うものである。

実現の状況进行评估するのであるから、評価する前に十分に指導し練習をさせておかねばならない。したがって、例えば、第2時間目で「表現の能力」の「計画したいパーティについて友達にインタビューできる」を評価することとしているが、評価する前の段階で、自分のしたいパーティの計画を立て、インタビューする練習を十分にさせる必要がある。

イ 適切な方法で評価する。

評価する際には、評価対象を的確に評価しなければならない。そのためにはその対象を測るのにもっともふさわしい方法を用いる必要がある。

事例の中では、様々な生徒の活動を通してコミュニケーション能力を評価しようとしている。例えば、生徒の活動の様子を観察する方法、ワークシートを課してそのシートをチェックする方法、さらに、面接テストでチェックする方法を用いるなどの工夫をしている。

とりわけ、知識については、まずパフォーマンスをさせて、その際用いられている音声や文法、表現などをみることで、それらの知識が備わっているかどうかを判定する。ただ、知識があっても直ちにその知識を運用できないこともあるので、それをみるためにペーパーテストを用いることを計画する。

ウ それぞれの評価規準については、信頼性を高めるために複数回の評価の機会を設定する。具体的評価規準に照らして評価を行う際には、評価の信頼性を高めるために複数回の評価を行う必要がある。なぜなら活動内容、話題、相手などにより、パフォーマンスは異なった現れ方をするからである。

そこでこの事例の中ではすべての具体的評価規準について複数回の評価の機会を設定している。

エ その他

本事例では、一つのモデルとして、1 単元ですべて完結した場合を示している。しかしながら、安定性や確実性を高めるために、かなりの時間を要する場合は、複数単元にまたがって継続的に指導して評価を行うことが望ましい場合もある。

#### (4) 観点別評価の進め方

考え方

具体的評価規準は「おおむね満足できると判断される」状況（B）を示すものとして設定しておりこの状況を実現すればB となり、そうならなければ努力を要すると判断される状況Cとなる。

具体的評価規準に照らして「十分満足できると判断される」状況（A）の例及び「努力を要すると判断される」状況（C）の生徒への指導の手だてを以下に記述する。

ア 「関心・意欲・態度」について

具体的評価規準 「間違いを恐れず関心のあることについて相手に質問している」については、常に文法的な誤りをあまり気にせず、多くの質問をしていると認められる場合は「十分満足できると判断される」状況（A）と評価する。また「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への指導の手だてとしては、誤りを過度に指摘しないことなどで話しやすい雰囲気をつくったりする。

具体的評価規準 「つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている」については、常に相手に伝える工夫をしていると認められる場合は「十分満足できると判断される」状況（A）と評価する。また「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への指導の手だてとしては、慣用表現などを個別指導したりする。

イ 「表現の能力」について

具体的評価規準 「話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる」については、常にふさわしい語句や表現を選択して伝えたい情報や考えなどを適切に伝えることが認められる場合は「十分満足できると判断される」状況（A）と評価する。また、「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への指導の手だてとしては、発表する英文や対話するとき用いられる英文について、補足説明をするなど必要な個別指導を行う。

ウ 「理解の能力」について

具体的評価規準 「聞かれたことに対して素早く適切に応じることができる」については、常に適切に聞き取ることができる場合「十分満足できると判断される」状況（A）と評価する。また、努力を要すると判断される状況（C）と評価される生徒への指導の手だてとしては聞き取りのポイントについて補足説明するなど、必要な個別指導を行う。

エ 「知識・理解」について

具体的評価規準 「パーティの場面に応じた表現を知っている」については、確実な定着が認められる場合は十分満足できると判断される状況（A）と評価する。また、努力を要すると判断される状況（C）と評価される生徒への指導の手だてとしては、説明をさらに補足するなど必要な個別指導を行う。

なお、「文化についての理解」については、本課では評価しないが、同様の考え方を当てはめる。

解説

以上に掲げた考え方に基づいて、具体的な評価の例を次に示す。

例えば、本事例では、関心・意欲・態度 「間違いを恐れず関心のあることについて相手に質問している」を評価規準として設けているが、この評価は以下のとおりである。

- ( 1 ) 具体の評価規準：「間違いを恐れず関心のあることについて相手に質問している」
- ( 2 ) 評価方法：ワークシート
- ( 3 ) 評価の手順：何人の友達とのインタビューをワークシートに記入させチェックする。
- ( 4 ) 評価の決定：
  - 何人の友達とインタビューしたかをチェックし、
  - 3人以上とできている場合は とする。
  - 3人以上とできていない場合は×とする。

- 【留意】・複数の評価の機会を設ける。
- ・ 2 回の評価は次のような場合分けができ、それぞれの「安定性」により B、C 及び A と評価する。
  - ・ がない場合は、対話を行っているとは認められないので C と評価する。
  - ・ が一つの場合は、対話を行っているとは認められるので B と評価する。
  - ・ が二つの場合は「安定的に」対話を行うことができると認められるので、A と評価する。

例：評価機会が 2 回の場合のモデル

	×	×	× ×
A	B	B	C

### 3 学習指導案 (オーラル・コミュニケーション : 単元計画の2時間目)

1 Textbook:

2 Objectives: The students will:

- (1) speak English without being afraid of making mistakes.
- (2) understand different kinds of parties and plan his/her own party.
- (3) interview their peers about the kind of party they want to have and report the information they've got orally.

3 Teaching Procedure:

PROCEDURE	TIME (m.)	ACTIVITIES		Assessment	NOTES
		TEACHER	STUDENTS		
Warm-up	7	Ask a couple of Ss if they were invited to a party. Have Ss work in pairs and tell his/her partner about the party he/she attended.	Answer the teacher. Form pairs. Tell his/her partner about the party he/she attended.		Create a relaxed atmosphere.  Activate Ss' schema.
Presentation of the new material [ Reading a diary ]	8	Have Ss read a diary written by a student who lived in a foreign country. Ask Ss the meanings of a 'surprise party' and 'BYO.' Explain the meanings of a 'surprise party' and 'BYO.' Explain different kinds of parties.	Read a diary.  Answer the teacher.  Listen to the teacher and check their understanding.		Have Ss read the diary within 5 minutes.
[ Writing one's own experience ]	8	Explain the meaning of the expression "I have experienced ~" by showing some examples. • I have experienced a surprise party when I was 12 years old. Have Ss write a sentence using the expression "I have experienced ~" Ask them to write their own experiences.	Listen to the teacher.  Write a sentence using the expression "I have experienced ~." Ss are supposed to write their own experiences.		Dictionaries can be used.
[ Planning a party ]	12	Have Ss plan a party and write it in English in the worksheet. the kind of party they want to have whom they want to have a party for	Plan a party and write it in the worksheet. the kind of party they want to have whom they want to have a party for		Ss should not write sentences.
Communication Activities [ Interview ] (1) Interviewing (2) Reporting (3) Feedback (4) Peer evaluation	15	Have Ss interview more than three students and ask them what kind of parties they are going to plan. Have them write the information on the worksheet. Have some Ss report the information orally in class.  Give comments.  Have Ss evaluate the reporting.	Interview more than three students and ask them the kind of parties they are planning.  Report the information orally in class.	A1   D1	Ss should not look at the worksheet.  Ss can only look at some of the words necessary for the reporting. Praise the good points.

#### Criteria for Assessment

A1: Students can tell a lot of information without being afraid of making mistakes.

A2: Students can use such words or phrases as "Well", "Oh", "Let me see...." in appropriate situations and carry on a conversation with another person.

B1: Students can speak in accordance with the appropriate degree of politeness.

B2: Students can introduce others or offer food to them, and carry on a conversation with them at parties.

C1: Students can understand others and respond to them quickly when they are introduced or offered food at parties.

D1: Students know the meanings and the usage of such expressions as "Thank you for ....", "This is ....", "Would you like to have ...?"

## 観点別評価の総括

本事例における評価の観点ごとの総括については次のように考える。

### (1) 考え方

まず最初に、評価の観点ごとに設定された具体の評価規準に照らして A、B、C の評価を行う。そして、本事例の「表現の能力」のように一つの観点に対して一つの具体の評価規準を設定して評価する場合は、その結果が評価の観点の総括となる。また、「関心・意欲・態度」のように一つの観点に対して二つ以上の具体の評価規準を設定して評価する場合は「A A B」なら A というように数の多い方で総括する。なお、「A C」は「B B」と置き換えた上で「A B」や「B C」のようにその評価結果が同数となる場合については、良い評価の方を取り、それぞれ「A」「B」とするなど、事前に決定した考え方により総括する。

### (2) 重み付けをする場合の考え方と観点別評価の総括

具体の評価規準に照らしての評価結果を総括するに当たっては、その課の目標や評価した内容などに応じて適宜重み付けをして総括することもできる。

#### (例)「関心・意欲・態度」の場合

- ・ 具体の評価規準「間違ふことを恐れず関心のあることについて相手に質問している」の評価が「A」
- ・ 具体の評価規準「つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている」の評価が「B」であるとする。
- ・ 本課においては、前者が言語の使用場面として指導計画に位置付けられているおり、そうした計画に基づいて指導内容としてより重視されている。そこで、前者の評価に重みを置き「A」と総括する。

単元における観点別評価の総括については様々な考え方や方法が可能であり、各学校の実情に応じて工夫することが望まれる。

なお、前述した岐阜県総合教育センターの教科英語のページ (<http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/eigo/eigotop.htm>) に、高校英語学習プログラム開発研究協力員による「評価例」・「評価資料」を掲載している。